

事務連絡
令和6年12月23日

会員各位

一般社団法人長野県理学療法士会
会長 佐藤 博之

訃報

長野県理学療法士会の3代目会長 佐藤弘一氏が令和6年11月27日にお亡くなりになりました。享年82歳でした。

佐藤先生は、昭和56年から昭和61年まで、3期6年にわたって会長を務められました。また佐藤先生は、長野県立総合リハビリテーションセンター(当時は長野県身体障害者福祉センター)開設当初から理学療法士として長野県のリハビリテーション行政の発展に寄与されました。

佐藤先生は、当時利害関係が漸時激化していた、理学療法士有資格者と全国病院理学療法協会との関係改善にご尽力されました。何度も協議を重ね、継続していた合同研修会の中止や講師派遣の辞退など、理学療法士の身分確立や地位向上に大きく貢献されました。

また士会事務局機能の強化にもご尽力され、当時会員数62名から148名と急激に会員数が増大する中、民主化推進策として、会費の値上げ、規約の改正、選挙規定・表彰規定の策定を行いました。宿泊研修会を開催したり、手書きの士会ニュースを発行し積極的に情報発信も行っていただきました。

また学術面では、昭和59年(1984年)に行われた、第19回日本理学療法士協会全国研修会には、当時の佐藤会長が中心となり、士会を挙げて3年前より準備をされ、長野県初の全国規模の研修会を成功裏に終えられました。

また行政機関や他団体との連携と関係強化にもご尽力いただき、老人保健法施行に伴う県の老健法実施計画検討委員会にも参画をいただきました。

1991年に士会賞、2000年に日本理学療法士協会賞、2010年に県知事表彰を受賞されています。

晩年にご病気を患い、約5年間にわたり闘病生活を送られていました。あらためて、佐藤先生のご功績に敬意と感謝を申し上げ、心よりご冥福をお祈りいたします。

(参考：長野県理学療法士会創立20周年記念誌、30周年記念誌、40周年記念誌)